



2015年 2月

発行 株式会社サニーメイズ

TEL 054-365-5163

静岡県静岡市清水区横砂南町2-1

FAX 054-364-2578

トウモロコシの在庫について

単位100万ブッシェル

米国産 13年/14年クropp

(2014年2月予測)

| | |
|------|--------|
| 期初在庫 | 821 |
| 生産量 | 13,925 |
| 輸入 | 35 |
| 国内消費 | 11,700 |
| 輸出 | 1,600 |
| 期末在庫 | 1,481 |
| 在庫率 | 11.1% |

14年/15年クropp

(2015年2月予測)

| | |
|------|--------|
| 期初在庫 | 1,232 |
| 生産量 | 14,216 |
| 輸入 | 25 |
| 国内消費 | 11,895 |
| 輸出 | 1,750 |
| 期末在庫 | 1,828 |
| 在庫率 | 13.4% |

今後のトウモロコシ相場のポイント

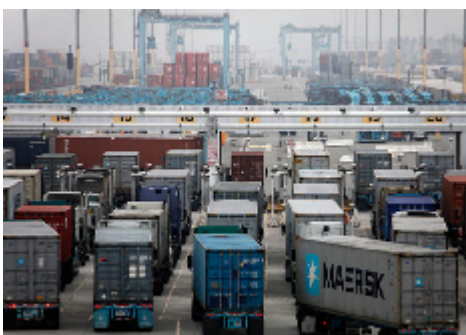
強(上昇)材料

- ・ 堅調なエタノール需要。5,250 百万ブッシェルと、生産量の 37%を占めます。
- ・ ウクライナ東部の混乱。
- ・ 寒波による収穫遅延。

弱(下降)材料

- ・ 世界全体の十分な期末在庫
- ・ 好調な南米の天候
- ・ 原油安

米国西海岸の港湾事情



米国西海岸の港湾は、滞留が一段と悪化しており、港はコンテナで溢れ大混雑を引き起こしています。

港湾の労使交渉は、待遇改善を巡り6年に1度開かれますが、既に9か月以上と長期化しており昨年11月からは労働者が作業を遅らせています。その影響で牛・豚肉、柑橘類等の高騰を招いています。

2月20日に労使交渉が暫定合意しましたが、大量の積荷が残った現状から港湾の荷役の正常化までに2~3か月を要すると見込まれています。

尚、サニーメイズのトウモロコシは、西海岸ではなくメキシコ湾経由での輸出です。

米国産コーン・アウトルック・カンファレンス

本年1月25日、アメリカ穀物協会主催の「米国産コーン・アウトルック・カンファレンス」がホテルオークラ東京で開催されました。

5人の講師や農家による説明がありましたが、その中から「日本の生命線を死守した米国」についてご紹介致します。



本来、穀物は自給するのが原則で、自国需要を満たしたうえで尚、余力がある場合に輸出します。振り返って、日本は自国の食糧事情を満たすには、日本の農地の2.6倍の農地を海外に求める必要がある事。輸入国であり続けなければならない日本は、信頼できる輸出国（つまり米国）と良好な関係を築いていかなければならない事。それは米国農家にとっても、継続的な安心を与えている事等の講演となりました。「持ちつ持たれつ」の関係が今後も重要である。」という事です。

また、エタノール政策では、需要と供給を無視し、法律で使用量を決めた事が欠陥である。トウモロコシが不作の場合、一定数がエタノールに振り分けられてしまっているため、不必要に値上がりしたとの苦言もありました。

ファベックス

昨年に続き本年も、中食・外食産業の業務用展示会「ファベックス」に出展致します。（4月15日~17日の3日間。会場は東京ビッグサイト）



トウモロコシ粉を使った試食品やレシピを交えて、またグルテンフリーである事をご紹介致します。機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。